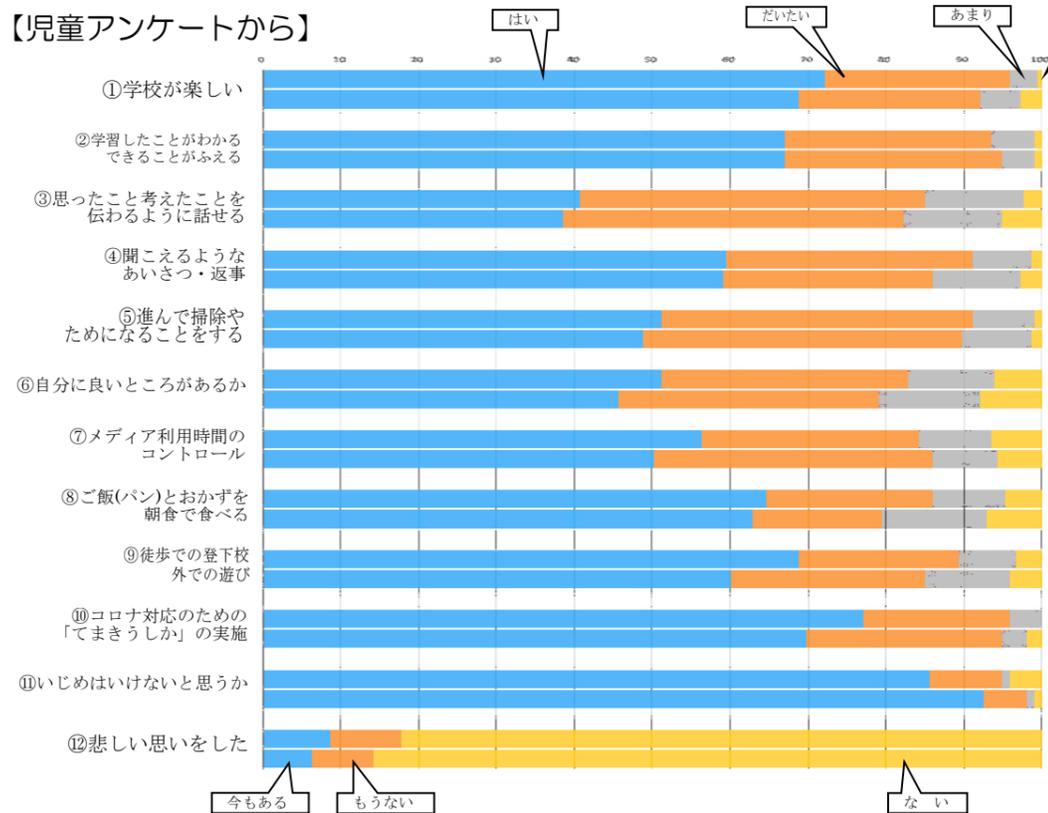


12月児童生活振り返りアンケート結果について

豊殿小学校長 田中菜穂子

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。12月の学校評価アンケート（保護者・児童）にご協力いただき、心より感謝申し上げます。アンケート結果と今後の取り組みについてご報告いたします。子どもの健全な育成のために努力して参りますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【児童アンケートから】



① 学校が楽しい
★児童、保護者ともに、「いいえ」「あまり」は昨年度のアンケートより少ないものの、今年度7月より増えています。特に「いいえ」と答えた子どもたちには話を聞きましたが、今後も子どもたちにとって楽しい学校となるよう努めてまいります。

② 学習したことがわかる、できることがふえる
☆「はい」「だいたい」が94.9%（児童）、95.1%（保護者）と高い評価になっています。今後もわかる授業を引き続き心掛けていきます。

③ 思ったこと考えたことを伝えるように話せる
★「はい」「だいたい」は昨年度と比べると増えているものの、7月と比べ「いいえ」にした子どもが増えています。引き続き語る場を大切にするとともに、苦手感をもつ子には、個別に支援を進めていきます。

④ 聞こえるようなあいさつ・返事
★「はい」は児童、保護者ともに7月と変わりありません。児童、保護者ともに「だいたい」が減り、その分「あまり」が増えています。よく挨拶できる子は変わらずですが、少し尻込みする子が増えている様子があります。機会を捉え挨拶の良さや大切さを伝えることを大切にしていきたいと思ひます。

⑤ 進んで掃除やためになることをする
☆「はい」「だいたい」が89.7%（児童）、と高い評価になっています。「自分から行う掃除」を目指して縦割り清掃に取り組むなど、全校で取り組んできたことが生きています。そうした姿を今後、家庭でのお手伝いにも広げていきたいところです。

⑥ 自分に良いところがあるか
★「はい」「だいたい」が児童、保護者ともに7月のアンケートより若干減っています。特に「いいえ」にした子どもが増えていることが気になります。自己有用感を持てるような取り組みを学校・家庭の双方で大切にしていきたいです。

⑦ メディア利用時間のコントロール
☆「はい」「だいたい」が児童、保護者ともに増えました。メディアに関わってお子さんと約束等をしていただいているお家がさらに増えた様子です。メディアコントロールデーの取り組みも意識の向上につながっているのではないかと思います。ご協力のおかげです。大変ありがとうございます。「いいえ」にした子ども6.5%（7月）から5.6%（12月）に減っていますが、さらに改善できるよう、学校、家庭で連携した取り組みを大切にしていきます。

⑧ ご飯（パン）とおかずを朝食で食べる
★「はい」「だいたい」が児童、保護者ともに減り、「いいえ」「あまり」が増えました。体や心をつくる上での食事の大切さを子どもたちに伝える機会を増やしていく必要があります。また、家庭でも連携した取り組みをお願いします。

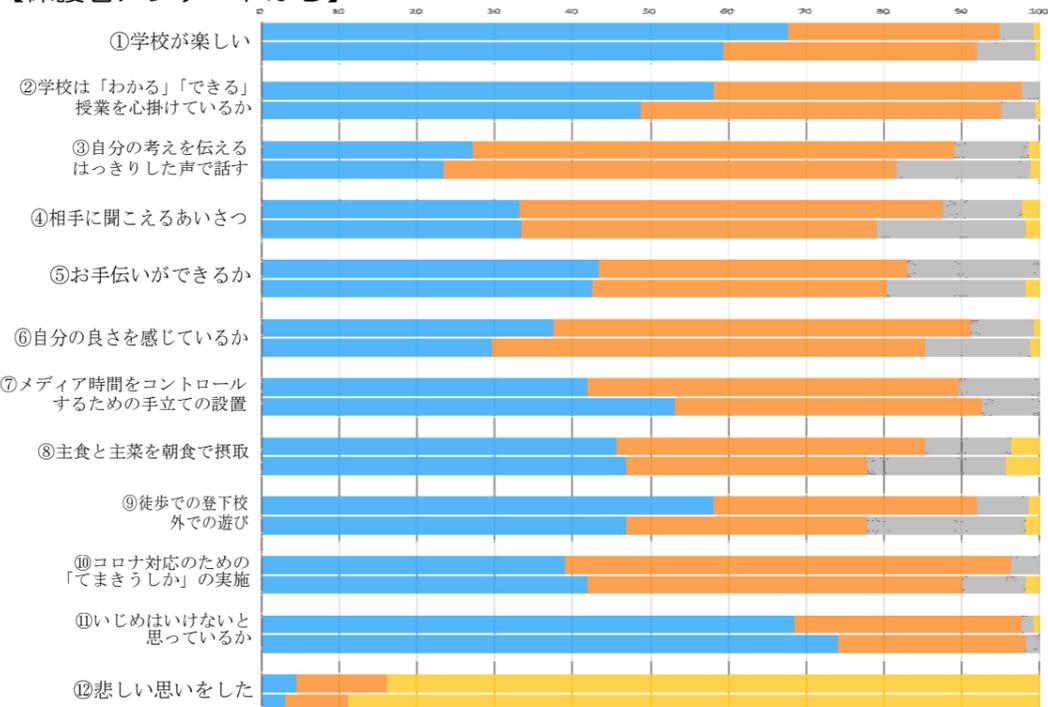
⑨ 徒歩での登下校、外での遊び
★「はい」「だいたい」が児童、保護者ともに減っています。今年の冬は寒さがきびしいことも影響していると思われまふ。コロナ禍と厳冬の中、体を動かす手立てを考え、進めてまいります。

⑩ 12月にかけて、コロナの感染拡大が比較的収まった時期が続きました。アンケートの結果からは、感染に対する警戒感が若干薄らいだ様子がうかがえます。現在、第6波の感染拡大を迎え、「てまきうしか」に改めて徹底して取り組んでまいります。

⑪ いじめはいけないと思うか
☆「はい」「だいたい」が児童94.9%（7月）→98.2%（12月）、保護者97.8%（7月）→98.2%（12月）と上がっています。保護者の方の「いじめはいけない」という願いが、子どもたちの心を動かしてくれたのだと思ひます。ありがとうございます。「いいえ」にした子どもが大きく減りましたが、引き続き道徳で心を耕していくほか、背景を探るなど寄り添った支援を大切にしていきます。

⑫ 悲しい思いをした
☆児童、保護者ともに「ない」が増えました。
★「はい（今もある）」に丸がついたお子さんについては、個別に話をきくなど、

【保護者アンケートから】



☆「はい」「だいたい」が児童、保護者ともに増えました。メディアに関わってお子さんと約束等をしていただいているお家がさらに増えた様子です。メディアコントロールデーの取り組みも意識の向上につながっているのではないかと思います。ご協力のおかげです。大変ありがとうございます。「いいえ」にした子ども6.5%（7月）から5.6%（12月）に減っていますが、さらに改善できるよう、学校、家庭で連携した取り組みを大切にしていきます。

★「はい」「だいたい」が児童、保護者ともに減り、「いいえ」「あまり」が増えました。体や心をつくる上での食事の大切さを子どもたちに伝える機会を増やしていく必要があります。また、家庭でも連携した取り組みをお願いします。

★「はい」「だいたい」が児童、保護者ともに減っています。今年の冬は寒さがきびしいことも影響していると思われまふ。コロナ禍と厳冬の中、体を動かす手立てを考え、進めてまいります。

☆「はい」「だいたい」が児童94.9%（7月）→98.2%（12月）、保護者97.8%（7月）→98.2%（12月）と上がっています。保護者の方の「いじめはいけない」という願いが、子どもたちの心を動かしてくれたのだと思ひます。ありがとうございます。「いいえ」にした子どもが大きく減りましたが、引き続き道徳で心を耕していくほか、背景を探るなど寄り添った支援を大切にしていきます。

☆児童、保護者ともに「ない」が増えました。
★「はい（今もある）」に丸がついたお子さんについては、個別に話をきくなど、

☆・・・評価が高くよいと思われるところや、今年度7月と比べて、大きく伸びているところ。
★・・・課題になるところ。

【アンケートの結果から、今後取り組んでいくこと】

- 今できていることを継続し、取り組みに創意工夫をして、さらなる向上を目指します。
- 来年度のグランドデザインを以上のアンケート結果を加味して作成してまいります。
- 学ぶことが楽しい学校づくりを進めます。【評価項目②③】
 - ・子どもが考えたい課題を設定し、自分の考えを持てるようにします。学習問題の提示、ふりかえりの実施をし、主体的な取り組みを通し、確かな学力を養います。
 - ・「はっきり話す」「はっきり聴く」を基本にした「語れる場」「語れる支援」を仕組み、「自分の言葉で語る力」を育てていきます。
 - ・誰にもわかりやすい授業を目指し、ユニバーサルデザイン化《マグネットの活用（構造的な板書）、小黒板の活用（見通しを示す）、まとめの実施》を意識して学習を進めます。効果的なクロームブックの活用を進めます。
- だれもが違った思いや考えがあることを知るとともに、自己有用感を高め、違いを認め合える人間形成を進めます。【評価項目④⑤⑥⑪⑫】
 - ・ご家庭でも、いじめがいけないことや、友だちを大切にすることの大切さを伝えていただきありがとうございます。学校でも引き続き多様性に気付き認め合う道徳の授業を実践し、いじめや差別を許さない高い人権感覚の育成に努めてまいります。
 - ・児童会を中心として挨拶の大切さを呼び掛けたり、道徳の授業を通し、挨拶のよさにふれる機会をもうけたりしていきます。
 - ・来年度も7月になかよし旬間、11月になかよし月間を設定し、子ども同士でよさを確認し合ったり、家庭でお子さんのよさを見つけてもらったりする活動を仕組み、自己有用感を高めていきます。また、子どもたちに生活の様子についてアンケート行うとともに、個別懇談を行い、児童理解に努めてまいります。
 - ・学校、家庭で子どもたちに役目をもたせ取り組むことを大事にし、がんばっている姿を見取り、ほめることを大切にしていきます。勤労のよさを子どもたちが感じられるようにしていきたいです。ご家庭でもご協力をお願いします。
- 健やかな身心の育成を進めます。【評価項目⑦⑧⑨⑩】
 - ・来年度も、健康的な体をつくることや、集中力を高めることを目指し、「体みがきタイム」（姿勢保持）に取り組まふ。児童会を中心にして外での運動を計画し、体を動かす機会を増やしていきます。
 - ・登下校については、安全第一を考えながら、なるべく徒歩での登下校を行っていただきますよう、ご協力をお願いいたします。
 - ・学年ごとに系統立ててメディア教育を進めることを通し、情報モラルを身につけるとともに、メディア時間をコントロールし、規則正しい生活（早寝・早起き）を送ることの大切さを伝えていきます。メディアコントロールチャレンジデーを学期ごとに設定し、自分の生活の見直す機会を設けます。引き続きご協力をお願いいたします。
 - ・日々の給食を通して、バランスのよい食事の大切さを確認してまいります。また、朝の健康観察時にも朝食を話題にしながら、その大切さを根気よく指導してまいります。ご家庭でも、引き続き規則正しい生活が送れ（早寝・早起き）、バランスのよい食事が摂れるようご協力をお願いいたします。